



県児連通信

発行者 栃木県児童館連絡協議会

会長 古川 勉

発行日 令和元(2019)年12月10日

10月の台風19号の影響により被害に遭われた皆様には、心より深くお見舞い申し上げます。台風襲来から2ヶ月が過ぎてもなお、台風の爪痕が残っている地域もあり、子どもたちの生活の場を取り戻すべくご尽力されている館もあります。

日々の業務と共に、来年度に向けて事業計画の立案などのお忙しいところ、各種研修会にご参加・ご協力をいただきありがとうございました。9月から始まった、県内を3ブロックに分けて行う児童厚生員等ブロック研修会も、ご担当いただきました各館の細やかなご準備や当日の進行のお陰で、和やかな雰囲気の中充実した内容で開催することができました。皆様お疲れ様でした。



栃木県児童館職員等研修会・児童厚生員等実技研修会を実施しました

下記のとおり、栃木県児童館職員等研修会・児童厚生員等実技研修会を実施しました。講義だけでなく、参加者同士のディスカッションや情報交換などの時間もあり、日々の業務の振り返りにもつながりました。研修会のアンケートにご記入いただきました感想も一部掲載させていただきます。

講演 B 基礎研修会

「児童館・児童クラブで育む

子どもの『非認知能力』

講師：新潟県立大学 人間生活学部教授 植木信一 氏

●実施日：11月1日(金)

●参加者数：178名

●感想(一部抜粋)

・非認知能力を育む場が、児童館や児童クラブであることが分かった。タテとヨコの関係性を持ち、居心地の良いスペースを作ることが大切である。

・もう少し「見守る」という気持ちで子どもに関わっていきたいと思いました。今は秋ですが、春に比べるとみんなとても成長していて、子ども達が身につけたことは、すごいなと感じます。非認知能力子ども達の成長につながると思います。

・とても分かりやすい講演でした。特に「何もしないことも大切」ということ、子どもの自主性を大切にするということで、今後の現場において活用していきたいと思いました。



演習 B 中堅職員研修会

「地域福祉と子育て・親育ちの支援

ー児童館職員等の役割を考える」

講師：作新学院大学女子短期大学部 教授 坪井真氏

●実施日：10月4日(金)

●参加者数：24名

●感想(一部抜粋)

・普段、当たり前に行っている活動も意味があり、大切な役割を持っている事に改めて考えさせられた。これからさらに自覚を持っていかねばと思った。

・各館での取り組みや職員の方々のご苦労などがよく分かり共感する部分がたくさんありました。

・日頃業務を行っている時に考え、心がけていることを専門的な言葉や説明を用いたお話を聴くことにより支援の仕組みを整理でき、同時に理解を深める事もできた。



児童厚生員等実技研修会 「あそびのヒントの共有」

講師：さくらJホール 堀謙二氏、山川子ども館 仁井田桂子氏、
やわらぎ児童館 豊田優子氏、きのこのもり 今津哲司氏

●実施日：11月21日(木) ●参加者数：51名

●感想(一部抜粋)

・堀先生の講義で栃木市の災害の深刻さと復日に地域住民の協力をいただいたとのことで、日頃からのコミュニケーションが大切だと思いました。

・処方箋は初めて会った人とても出来たと思った。会話が出来て良い。

・万華鏡作りでのアレルギー対応についても大変勉強になりました。

・飛ばひこうき2種、素晴らしいです!!

・各児童館の中で人気の遊び、製作を紹介していただけるのが、とても良かった。そのときの子ども達の様子や、保護者の様子など現場の生の声、様子、反応も分かり取り入れやすいと思った。

・全ての物が面白く、すぐに実践したいと思った。自分だけでは考えられないアイデアがたくさんあった。





交流も図ることができました。県児連ブロック研修会

第1ブロック 9月12日(木)

会場：さくら市氏家児童センター

担当：さくら市喜連川児童センター

講師：那須かたりべの会会長

齋藤 留美子氏

参加者：18名

子育て支援活動やおはなし会の導入などに活用できる“動くおりがみ”を使った研修会。齋藤先生から次々と繰り出される、おりがみや廃材などで作った小道具と温かな語りの世界に、参加者は引き込まれていました。先生の経験で培われた、子ども1人ひとりと触れ合うための手法は、即実践できると好評でした。



第2ブロック 12月2日(月)

会場：宇都宮市田原児童センター

担当：宇都宮市田原児童センター

講師：大谷石体験館 講師

永井友美子氏・高内麻八氏

参加者：24名

宇都宮市の特産品の大谷石を活用した、手仕事を次世代につなぐ活動の体験を行いました。大谷石でできたプレートに、色とりどりの紙ナプキンを自由に切り貼りするデコパージュの技法のコースター作りを体験。情報交換会ではグループに分かれて、おすすめプログラムや日頃困っていることなどを話し合いました。



第3ブロック 11月12日(火)

会場：足利市山辺公民館 別館ホール

担当：足利市八幡こども館

講師：エアロビクス・ヨガインストラクター

三田千佳子氏

参加者：23名

親子のスキンシップを通して、子どもたちが身体を動かすことの楽しさを感じると共に、保護者のリフレッシュもできると好評の「親子エアロビクス」の体験研修会。近年の子ども達の運動機能の問題や対応などについてのお話もあり、充実した内容に。三田先生の笑顔あふれるトークとパワフルダンスで会場も笑顔でリフレッシュ！「動くことで笑顔になる」との声もありました。



県内児童館紹介

第30回 下原児童館



所在地 〒321-2522

日光市鬼怒川温泉大原2-24

電話 0288-76-2355

開館時間 10:00 ~ 18:00



夏まつり～ウォーターバトル！～



夏まつり～おみこし～



夏まつり～魚釣り～

下原児童館は、日光市の鬼怒川温泉地域にある小型児童館です。周辺には保育施設、小学校があり、四季折々の山々に囲まれ、目の前には東武日光線を通るS L大樹が白煙をあげ走っています。そんな自然豊かなところに児童館があります。

施設内はホール、図書館、ゆっくりできる和室があります。

屋外も広くサッカー、野球、一輪車、バドミントン、鬼ごっこなどのびのびと遊ぶことができます。

活動としては、親子教室や夏祭り、クリスマス会など季節の行事のほか、公民館共催事業もあり、バスで色々な場所を探訪したり、魚つりにでかけたりしています。ボランティアの方による読み聞かせもあり、地域の方にお世話になりながら活動しています。



開館日・行事内容等はホームページをご覧ください



わくわく探検隊



ひよこ教室

お問い合わせ先

栃木県児童館連絡協議会事務局（栃木県子ども総合科学館・育成課内） 担当：金田

TEL：028-659-5555 FAX：028-659-5353